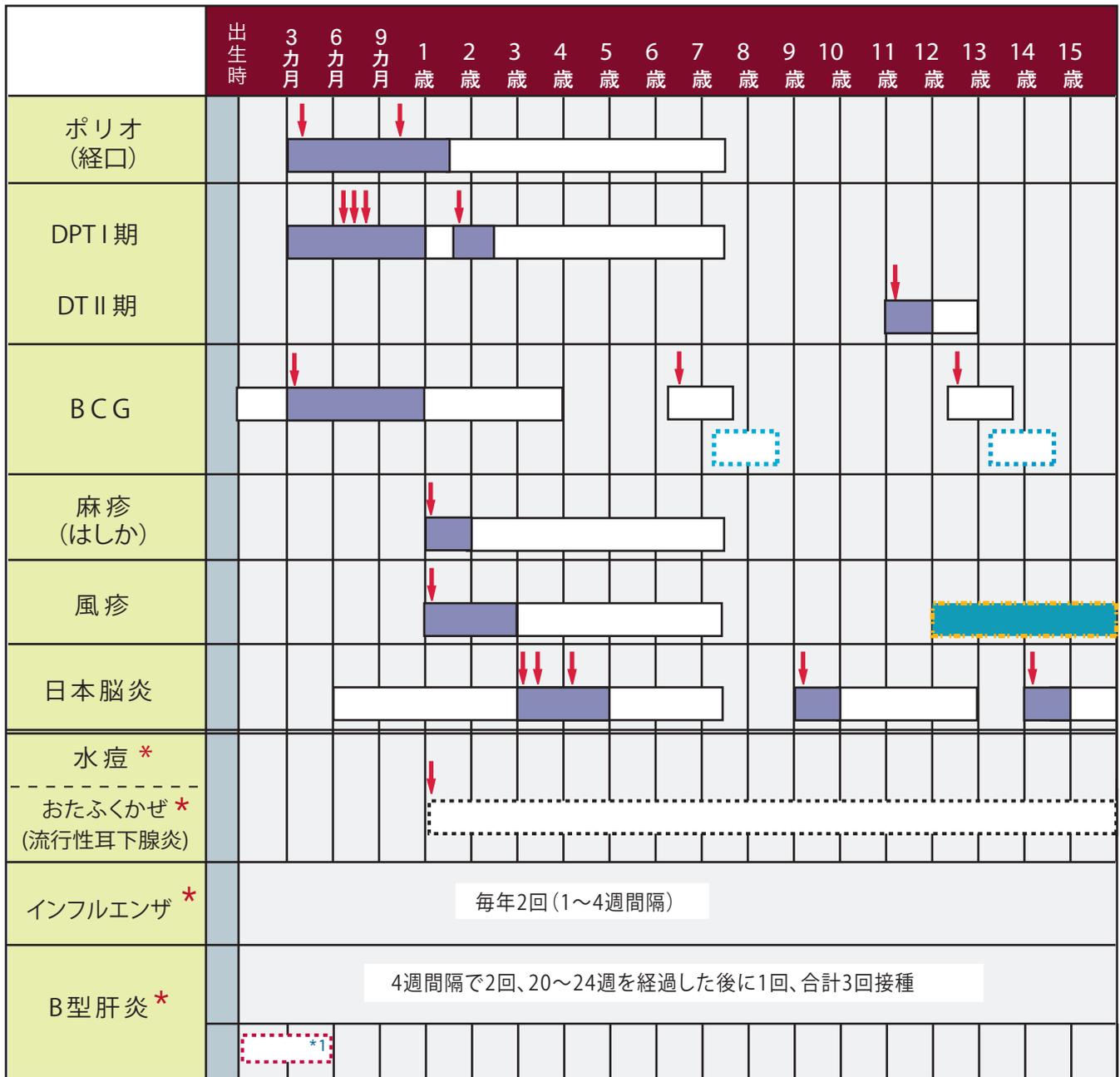


日本の小児定期予防接種スケジュール2001年



- ↓ 接種
- 通常接種が行われている年齢
- 接種が定められている年齢
- 未接種者の追加接種
- (点線) ツ反陰性児への再接種
- (点線) 経過措置 (2003年9月30日まで) として中学生に接種
- (点線) 接種年齢
- * 任意接種
- (点線) 母子感染防止事業

*1 妊娠中に検査を行い、HBs抗原陽性 (HBe抗原陽性、陰性の両方とも)の母親からの出生児は、出生後できるだけ早期及び、生後2ヶ月にHB免疫グロブリン(HBIG)を接種、ただし、HBe抗原陰性の母親から生まれた児の場合は2回目のHBIGを省略しても良い。更に生後2,3,5カ月にHBワクチンを接種する。生後6ヶ月後にHBs抗原及び抗体検査を行い必要に応じて任意の追加接種を行う (健康保険適用)。